

SIHD

池田泉州ホールディングス ミニディスクロージャー誌

2022.9



トップメッセージ

皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。また、新型コロナウイルスの影響を受けられている皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

池田泉州ホールディングスの中間期の業績ならびに第5次中期経営計画の進捗状況について、お知らせいたします。

2022年度は、コロナ影響に加えて人手不足、資源・原材料価格の高騰と海外金利の急上昇や円安進行の影響等、国内外のリスクファクターにより、実体経済や金融市場の先行き見通しの不透明感が高まっております。

このような中、池田泉州ホールディングスグループは本年5月、第5次中期経営計画(2021年度～2023年度)を一部見直し、変化する環境下でも着実な成長が実現できるように、成長戦略をアップデートいたしました。

そして「地域の皆様に愛される金融グループを目指す」という経営理念の下、「徹底したソリューションビジネス」で皆さまのお役に立つという目標をかかげ、役職員一丸となって日々邁進しております。

2025年大阪・関西万博まで3年を切りました。

「いのち輝く未来社会のデザイン」というコンセプトの下、SDGsの実現に向けて、私どもも2021年5月に「サステナビリティ宣言」を行い、2022年4月にはサステナビリティ委員会およびSX戦略室を新設し、本業を通じた地域の社会課題や環境課題の解決に取り組んでおります。

また、万博をチャンスと捉えて可能性を広げていこうというチャレンジ精神旺盛な事業者を応援すべく、社内の体制づくりを進めております。

当中間期の業績は順調に推移し、本年5月に公表しておりました当中間期の計画を大きく上回る結果となりました。

ポストコロナでの地域社会や地域の皆さまのご発展のお役に立てよう、役職員一同グループ一丸となって取り組んでまいります。

何卒、今後とも変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

2022年11月

取締役社長CEO

鵜川 淳



池田泉州ホールディングス

第5次中期経営計画の進捗状況

池田泉州ホールディングスは、成長戦略・生産性向上を実現するため、第5次中期経営計画を策定しております。

これからも、変化する未来社会への果敢なチャレンジを続けてまいります。

■ 基本方針

お客さま お客さまのさまざまな課題を知り、お客さまの視点に立って、最適なソリューションを的確にご提供します

職員 お客さまの信頼にお応えすることで、やりがいを感じ自らも成長し、職員が多様な活躍が出来る職場を創ります

地域 事業活動を通じて、地域社会の持続的な発展と地域の皆さまの安心で豊かな暮らしづくりに貢献します

■ 重点戦略(成長戦略・生産性向上)

- 1 徹底したソリューションビジネスの構築・提供
- 2 お客さま起点主義の徹底
- 3 第5次中期経営計画を支える体制整備
- 4 人材戦略
- 5 資本・配当政策
- 6 サステナブル経営

■ 本年5月見直し後の第5次中期経営計画(2021年度～2023年度)

	2021年度 実績	2022年度中間期		2022年度 見直し後計画		2023年度目標	
		計画	実績	見直し後計画	当初計画	見直し後	
池田泉州ホールディングス連結	当期純利益	114億円	40億円	72億円	79億円	70億円	86億円
	ROE	4.6%	3% 半ば	6.1%	3% 前半	3% 前半	3% 半ば
	自己資本比率	9.9%	8% 半ば	8.8%	12% 台半ば	11% 台	12% 台半ば
池田泉州銀行単体	コア業務純益	113億円	68億円	77億円	135億円	115億円	137億円
	本業利益	64億円	36億円	36億円	77億円	70億円	97億円
	コアOHR	79.0%	75.0%	72.4%	75% 台	78% 台	74% 台

株主還元方針

1株あたりの配当

10円以上

株主還元率

30%以上

資本政策

優先株 250億円

2022年7月15日に取得・消却済
(コスト▲7.5億円)

第5次中期経営計画の取組み

情報や価値がとけ合い混ざり合う場 [GUTSU GUTSU]

なんばスカイオ1階に今冬オープン!

池田泉州銀行は、2022年12月、なんばスカイオ1階に新たな拠点[GUTSU GUTSU]（ぐつぐつ）をオープンいたします。[GUTSU GUTSU]は、お客さまと私たち、お客さま同士など、さまざまな方々が、情報発信の場、交流の場、学習の場など、多様な用途にご利用いただくことで、新しい価値が生まれることを目指す場所です。



[GUTSU GUTSU]に込める想いについてはこちら



投資一任運用サービス「池田泉州ファンドラップ(愛称:ニューゲート)」の取扱いを開始

池田泉州銀行は、投資一任運用サービス「池田泉州ファンドラップ(愛称:ニューゲート)」の取扱いを開始しました。「池田泉州ファンドラップ」は、お客さまお一人おひとりのライフプランや資産運用に対するお考えをお伺いし、最適なポートフォリオのご提案から、お客さまに代わって専門家が運用・管理・報告まで、一括して行う資産運用サービスです。

当行は、本サービスを通じて地域のお客さまの資産形成のお手伝いを行ってまいります。

SDGs/ESGへの取組み

2025年大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン「展示・出展ゾーン」事業企画の リボーンチャレンジ認定

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会が主催する大阪ヘルスケアパビリオン®「展示・出展ゾーン」への事業企画募集に池田泉州銀行が提案した3テーマが、リボーンチャレンジとしての認定を受けました。

当行は、「展示・出展ゾーン」を活用し、認定を受けた3つのテーマの具体化を通じて、地元企業の大阪・関西万博への参加機会を創出いたします。出展企業には、当行が持つネットワークを活用しながら、大阪ヘルスケアパビリオンで技術力、魅力を効果的に発信で

■大阪ヘルスケアパビリオン イメージ図



(出所:2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会関連資料)

きるようにサポートいたします。さらに、万博の会期中だけでなく、準備期間や開催後も視野に入れた共創を企画・推進していきます。

池田泉州銀行グループは、地域の皆さまとともに、地域経済に新しい価値を生み出すチャレンジを応援し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

*大阪ヘルスケアパビリオンの「展示・出展ゾーン」は、中小企業・スタートアップの技術力、魅力を発信する場として、公益財団法人大阪産業局と大阪商工会議所が共同で設置した「中・小・スタートアップ出展企画推進委員会」が、大阪府、大阪市とも協力して運営を担っています。

■展示・出展ゾーン イメージ図



(出所:2025年日本国際博覧会大阪パビリオン出展基本計画)

「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の実行

池田泉州銀行は、リークラボ・ジャパン、フォーシーズンズ、シノワ・アクティブに対して「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」を実施しました。

「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」とは、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト(ポジティブな影響とネガティブな影響)を分析・評価し、お客さまが設定されたKPIの達成支援等を通じて、環境・社会課題の解決と、企業価値向上に繋がることを目的とした融資商品です。

金融リテラシー向上に向けた取組み

～大阪府教育庁 高等学校教員等向け金融教育研修の実施～

池田泉州ホールディングスのグループ会社である自然総研は地域の金融リテラシー向上を目的に、大阪府教育庁 高等学校教員等(約200名を対象)向け金融教育研修を行いました。

「貯蓄」から「投資」への政策が進む中、2022年4月より成年年齢の引き下げや高等学校学習指導要領改訂による金融教育の内容拡充など、金融教育の重要性はますます高まっています。資産運用が求められる社会的背景や金融が社会に与える影響、金融商品契約時の注意点など、授業を行う教員の皆さまを対象に、金融経済に対する理解の向上に努め、先生を通じて多くの

生徒に対し、より効果的な金融教育の実現を図ります。

当社グループは徹底したソリューションで地域の皆さまのお役に立ち、地域に愛される金融グループを目指してまいります。

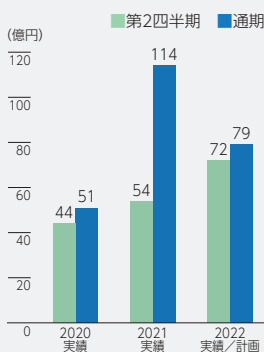


財務・非財務ハイライト

財務ハイライト

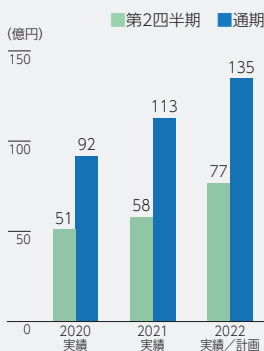
池田泉州ホールディングス

親会社株主に帰属する当期純利益

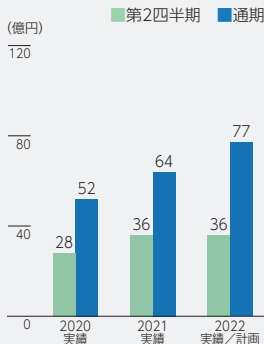


池田泉州銀行

コア業務純益

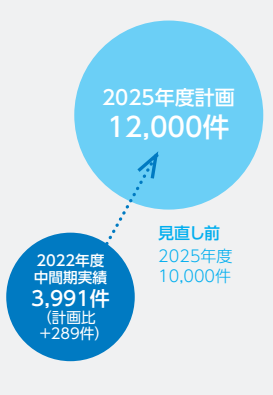


本業利益の推移

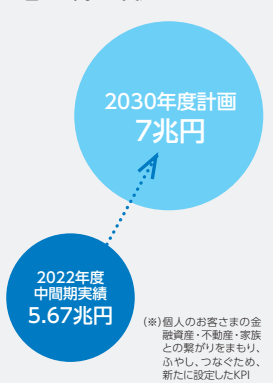


非財務ハイライト

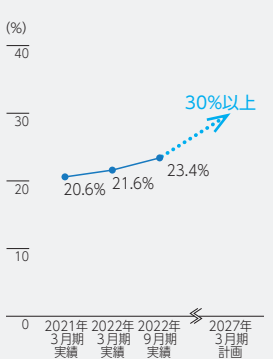
ソリューション件数



お客さま関わり資産^(※)



管理職^(※)に占める女性の割合



(※)管理職とは、担当業務の責任者として、組織マネジメントの職責を担う者。
具体的には、部下を持つ職務にある「課長代理」「調査役」以上の職位にある者。

株主の皆さまへ

池田泉州ホールディングスは、株主の皆さまとの対話の充実を、重要な経営課題と位置づけております。

株主の皆さまに、当社の業績や日頃の活動などをご説明し、当社へのご理解を深めていただくとともに、皆さまからのご意見を経営に生かしてまいります。

株主懇談会

当社では、株主の皆さまとの対話の場として、株主懇談会を開催しております。

昨年度は新型コロナウイルス感染症のためWEBで当社の近況ご報告をいたしました。

今年度は2月20日、2月22日の2回にわけて3年振りに開催する予定です。

株主懇談会では、近況のご報告・外部講師によるマーケットセミナー・当社グループ役員との懇話を予定しております。

※食事等のご用意はございません。お帰りの際、お土産をお渡しいたします。

過去の株主懇談会の様子



株主優待制度のご案内

株主の皆さまの日頃のご支援にお応えすべく、株主優待制度をご用意しております。

地域ブランド発信の想いを込めて、関西各地で愛されてきた自慢の食材や、長い伝統を誇る地場の名品などを多数取り揃えたカタログギフトの中からお選びいただけます。

保有株数	保有期間	優待内容
10,000株以上	3年以上	株主優待カタログ 10,000円相当 (地域特産品等)
	3年未満	株主優待カタログ 5,000円相当 (地域特産品等)
6,000株以上 10,000株未満	3年以上	株主優待カタログ 5,000円相当 (地域特産品等)
	3年未満	株主優待カタログ 3,000円相当 (地域特産品等)
2,000株以上 6,000株未満	3年以上	株主優待カタログ 3,000円相当 (地域特産品等)
	3年未満	株主優待カタログ 2,000円相当 (地域特産品等)

注: 10,000株以上/3年以上は「および」、6,000株以上/10,000株未満は「いずれかを」として選択可能。2,000株以上/6,000株未満は「かつ」として適用される。

▶継続保有期間3年以上とは、「3月末および9月末時点の株主名簿に同一株主番号で連続7回以上記録されていること」としてあります。

【例】保有株数10,000株以上、継続保有期間3年以上の株主さまとは、「3月末および9月末時点の株主名簿に同一株主番号で、保有株数が10,000株以上であることが、連続7回以上記録された株主さま」になります。

■株主優待制度の変更について
当社株式を200株以上、2,000株未満保有いただいている株主の皆さまにご用意しておりました「株主優待定期預金金利アップクーポン(スーパー定期店頭公示金利+0.1%)」について、2022年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主さまへの株主優待贈呈をもって終了させていただきました。

会社概要

Profile (2022年9月末日現在)

池田泉州ホールディングス

設立日 2009年10月1日
本社所在地 大阪市北区茶屋町18番14号

資本金 1,029億円
従業員数 129名
上場取引所 東京証券取引所